



2024年12月期第1四半期  
決算補足説明資料

2024年5月14日

株式会社テノ。ホールディングス

(証券コード：7037)

**teno.**  
HOLDINGS

<u>Section 1</u>	決算概要 (全社)	2024年12月期第1四半期
<u>Section 2</u>	決算概要 (セグメント別)	2024年12月期第1四半期
<u>Section 3</u>	業績予想	2024年12月期
<u>Section 4</u>	中期経営計画と長期ビジョン	
<u>Section 5</u>	Appendix	

## 増収・増益（営業利益の前年比）

（単位：百万円）	2023/12月期1Q	2024/12月期1Q	前年増減比（％）	前年増減額
売上高	3,389	3,809	+12.4	+420
売上原価	2,888	3,229	+11.8	+340
販管費	440	514	+16.7	+73
営業利益	59	65	+9.7	+5
経常利益※1	76	65	▲14.4	▲11
純利益※2	18	12	▲30.3	▲5

1

### 売上高

- テノ・コーポレーションが前期に開設した公的保育施設の売上寄与、児童数増加及び保育士の処遇改善等の補助金収入の増加による増収
- セーフティージャパン・リスクマネジメントの売上寄与による増収（昨年は2Qより連結）
- 2月に子会社化したウィッシュとその子会社の子育てサポートを連結したことによる増収

2

### 費用

- テノ・コーポレーションによる「KDI福岡アイランドシティ」の新規開園にかかる費用発生
- フォルテによる「ほっぺるの家」の新規開設にかかる費用発生
- セーフティージャパン・リスクマネジメントの費用、のれん償却費の発生
- ウィッシュ及び子育てサポートの費用、のれん償却費及び株式取得に係る一過性の費用の発生

※1 助成金収入が昨年度に比べて減少したことが減益の主な要因

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	増減比 (%)	増減額
売上高	3,389	3,809	+12.4	+420
売上原価	2,888	3,229	+11.8	+340
売上総利益	500	579	+15.9	+79
販管費	440	514	+16.7	+73
営業利益	59	65	+9.7	+5
営業外収益	22	6	▲73.6	▲16
営業外費用	5	6	+0.5	+0
経常利益	76	65	▲14.4	▲11
純利益 ※	18	12	▲30.3	▲5

※親会社株主に帰属する四半期純利益

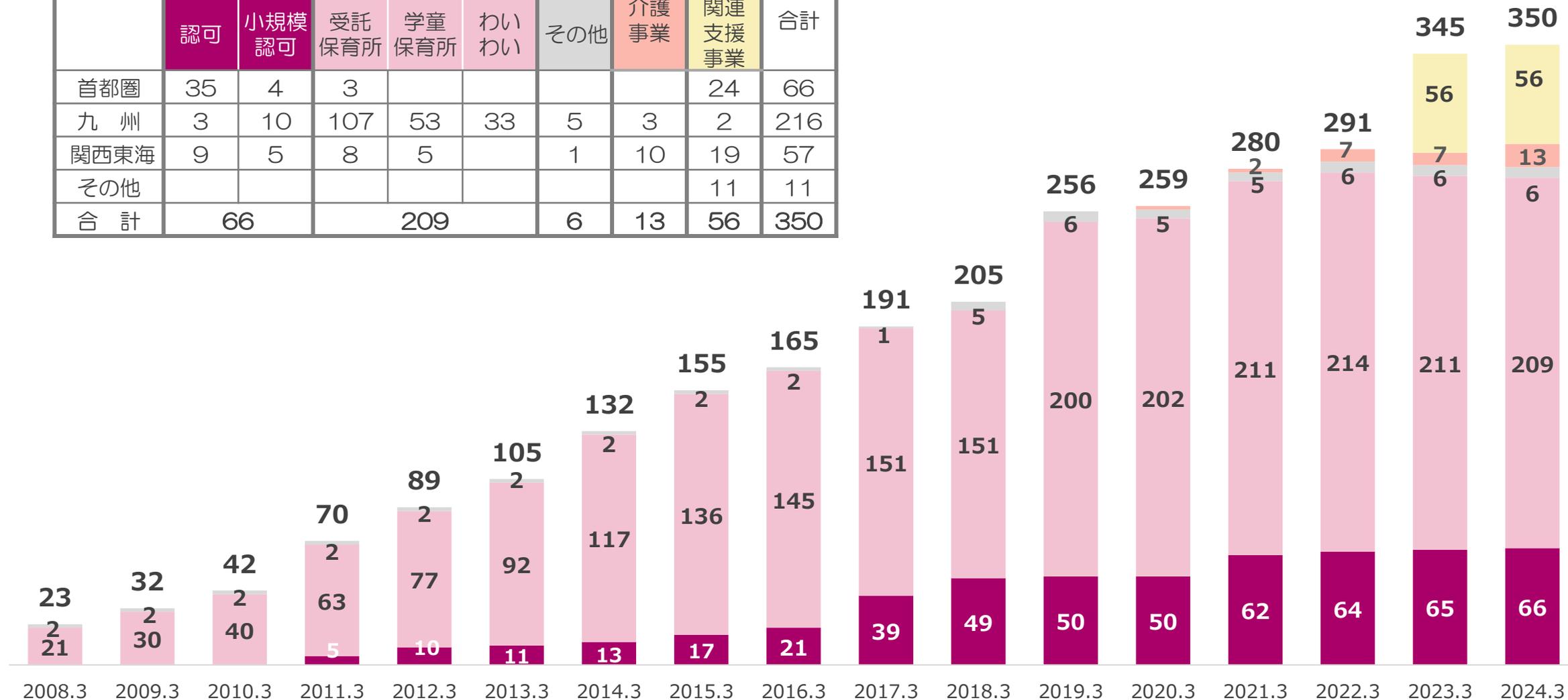
# 連結貸借対照表概要

(単位：百万円)	2023年12月期	2024年12月期 1Q	増減額
流動資産	4,094	5,239	+1,144
現金及び預金	1,925	2,668	+743
売掛金及び契約資産	1,194	1,260	+65
固定資産	5,432	5,839	+406
有形固定資産	1,705	1,718	+12
無形固定資産	1,915	2,311	+396
(のれん)	1,670	2,057	+386
投資その他の資産	1,811	1,809	▲1
資産合計	9,527	11,079	+1,551
流動負債	4,136	5,512	+1,375
短期借入金	1,339	2,614	+1,275
1年内返済予定長期借入金	569	710	+140
未払金	909	856	▲53
固定負債	3,148	3,352	+204
長期借入金	2,855	3,062	+206
純資産	2,242	2,213	▲28
負債・純資産合計	9,527	11,079	+1,551

# 運営施設数の推移（セグメント別）

- 首都圏、九州、関西東海、全国各地に保育施設、介護施設及び料理教室を運営  
 <2024年3月末 地域別施設別明細表>

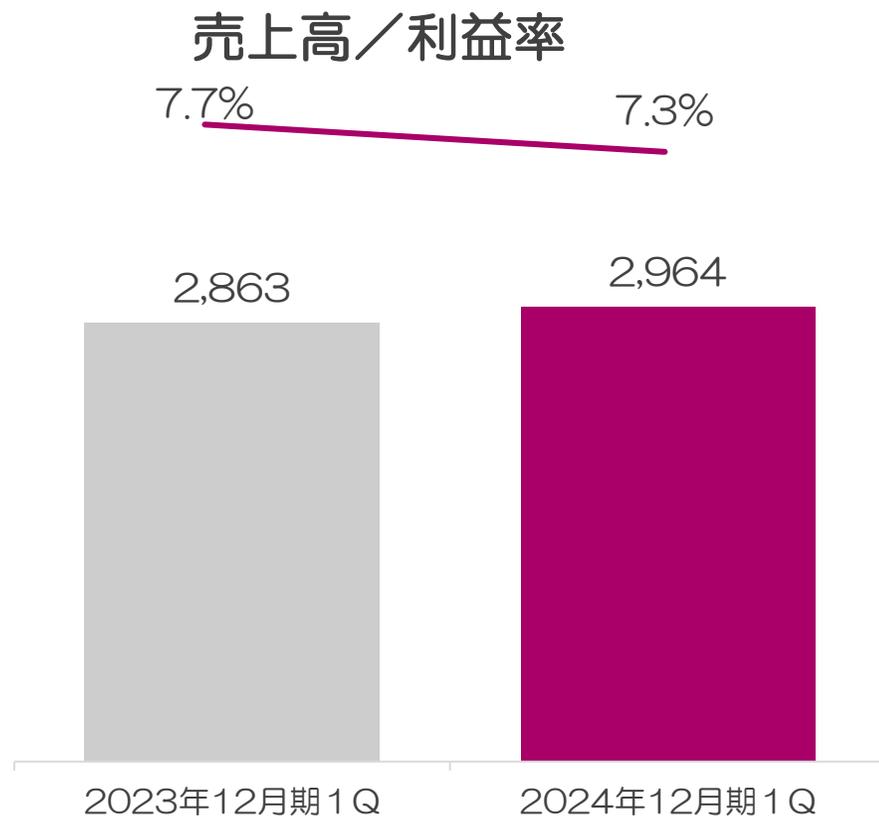
	保育事業						介護事業	生活関連支援事業	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい	その他			
首都圏	35	4	3					24	66
九州	3	10	107	53	33	5	3	2	216
関西東海	9	5	8	5		1	10	19	57
その他								11	11
合計	66		209			6	13	56	350



# Section2

決算概要  
2024年12月期第1四半期  
(セグメント別)

(単位：百万円)	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	2,863	2,964	+100	+3.5%
セグメント利益	219	216	▲3	▲1.4%
同利益率	7.7%	7.3%	—	—



## &lt;ポイント&gt;

- 収入面は、前年4月に開設した施設の売上寄与。また、保育士の処遇改善等の補助金収入が増加したことにより増収。
- 費用面は、公的保育において施設運営に関する原価（水道光熱費及び消耗品費）が減少。また、受託保育に関して前期までに運営を終了した不採算施設の影響により、減少。
- 2024年4月開園の「KDI福岡アイランドシティ（その他保育に分類）」に要した開園準備等に約40百万円の費用が発生。減益の主要因となった。

# セグメント別【保育事業（詳細）】

保育事業の内訳として、公的保育と受託保育の業績を参考記載

## 【公的保育】 増収・減益

(単位：百万円)	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	1,943	2,033	+89	+4.6%
セグメント利益	206	203	▲3	▲1.5%
同利益率	10.6%	10.0%		

- 収入面は、前年4月に開設した施設の売上寄与。保育士の処遇改善等の補助金収入が増加したことにより増収。
- 費用面では、離職率改善によって、採用費が削減されたものの、処遇改善のための労務費が増加。

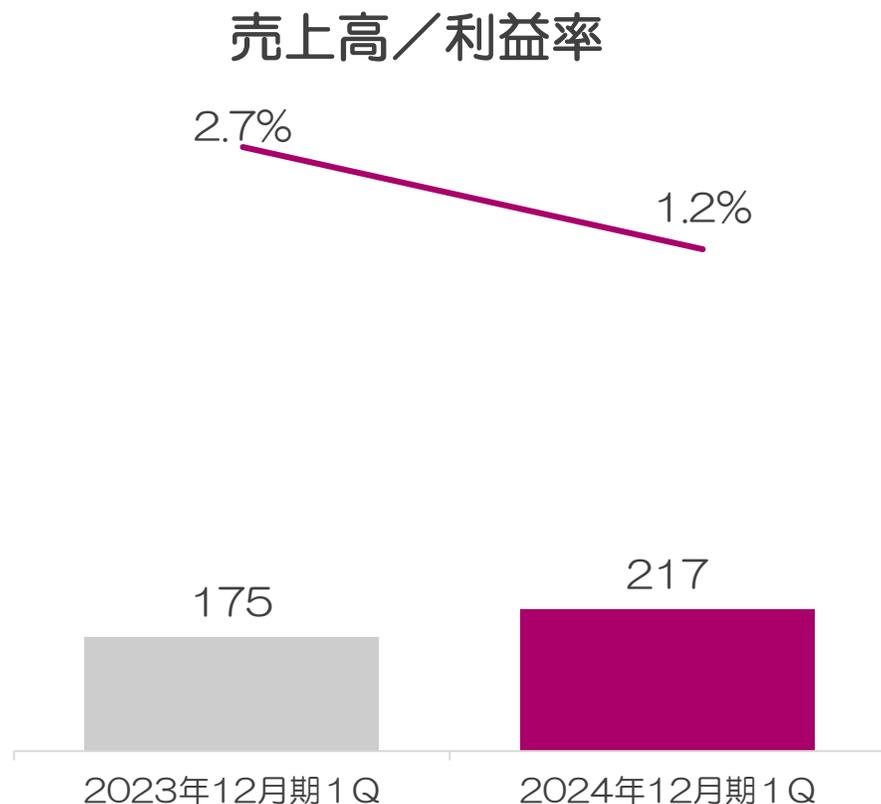
## 【受託保育】 増収・増益

(単位：百万円)	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	848	849	+0	+0.0%
セグメント利益	12	44	+32	+255.6%
同利益率	1.5%	5.3%		

- 収入面は、前年3月に終了した施設の影響により減少したものの、前年4月より新規に運営を開始した施設（主に学童保育所）の増収貢献により前期比は微増で推移。
- 費用面では、前期までに運営を終了した不採算施設の影響により、減少。増益に貢献。

※保育事業のうち、上表にはその他保育の施設の業績は含んでおりません

(単位：百万円)	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	175	217	+42	+24.1%
セグメント利益	4	2	▲2	▲43.1%
同利益率	2.7%	1.2%		

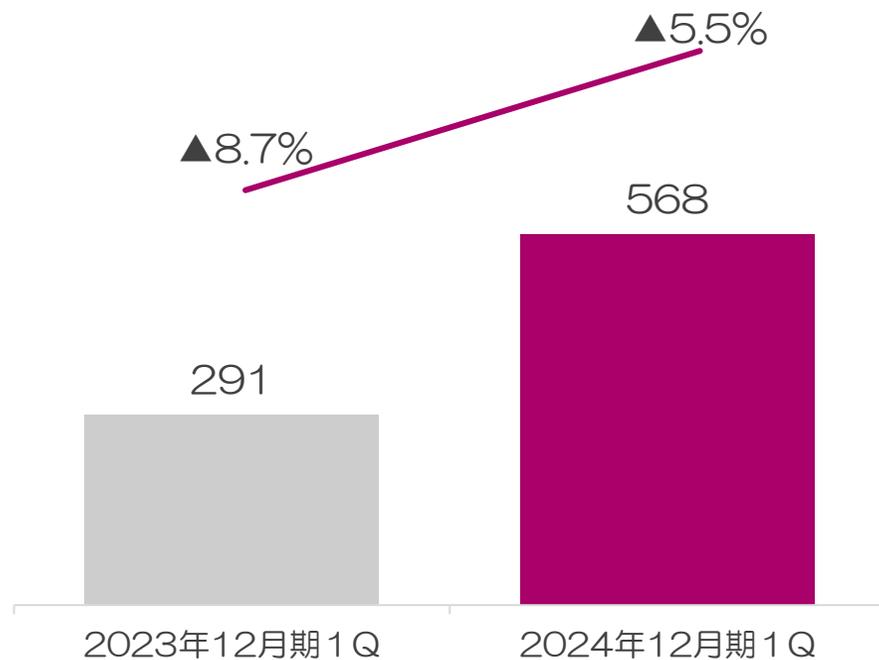


<ポイント>

- 2024年2月に子会社化した株式会社ウィッシュ及びその子会社である株式会社子育てサポートの業績を当セグメントへ反映。
- 収入面は、既存施設の安定稼働と子会社化したウィッシュ及び子育てサポートの寄与により増収。
- 利益面は、株式会社フォルテによる「ほっぺるの家」の新規開設にかかる費用計上により減益。
- フォルテでは、2024年4月にウェルファ株式会社を子会社化、2024年5月に株式会社翠明の介護事業を事業譲受。  
新規開設を数施設計画しており、予定通りの開設が遂行できるよう取組み中。

(単位：百万円)	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	291	568	+276	+94.8%
セグメント利益	▲25	▲31	▲5	—
同利益率	▲8.7%	▲5.5%	—	—

## 売上高／利益率



## &lt;ポイント&gt;

- セーフティージャパン・リスクマネジメントの業績が通期に寄与したため、増収。
- ホームメイドクッキングとセーフティージャパン・リスクマネジメントの経営成績は以下の通りです。

## ホームメイドクッキング

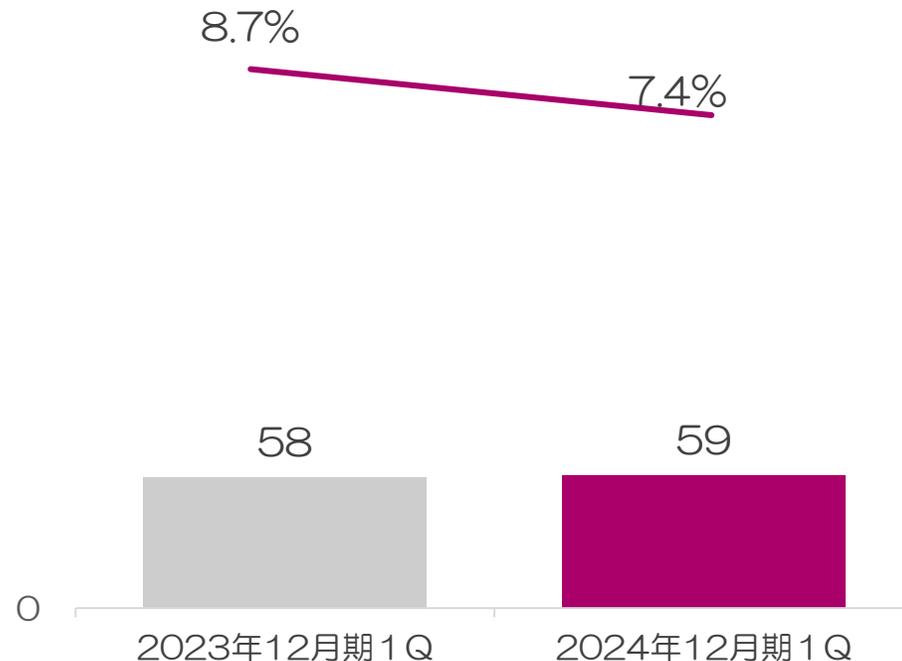
売上高 288百万円  
セグメント利益 ▲23百万円

## セーフティージャパン・リスクマネジメント

売上高 279百万円  
セグメント収益 ▲8百万円

(単位：百万円)	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	58	59	+0	+1.3%
セグメント利益	5	4	▲0	▲13.4%
同利益率	8.7%	7.4%		

## 売上高／営業利益率



## &lt;ポイント&gt;

- 収入面では、テノスクール、保育士派遣、ベビーシッター等の売上が堅調に推移し昨年からはほぼ横ばいの結果となった。
- 費用面では、テノスクールの運営にかかる諸経費が増加。
- 費用が収入よりも増加したため減益の結果となった。

# Section 3

業績予想 2024年12月期

## 積極投資による 増収・減益予想

(単位：百万円)	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 予想	増減率 (%)	増減額
売上高	14,557	15,880	+9.1	+1,322
営業利益	187	155	▲17.2	▲32
経常利益	194	138	▲28.9	▲56
当期純利益※	100	32	▲67.7	▲67

### 【成長に向けた事業投資】

保育事業  
 営業利益影響額 ▲150M  
 2024年4月開設予定の  
 KDI福岡アイランドシティへの投資、立上  
 げ費用の発生

介護事業  
 営業利益影響額 ▲50M  
 2024年以降に開設を計画している  
 介護施設へ向けた投資、立上げ費用の発生

営業利益影響額 ▲50M  
 2024年2月に取得した株式会社ウイッ  
 シュの株式取得関連費用（及びのれん償  
 却費の発生）

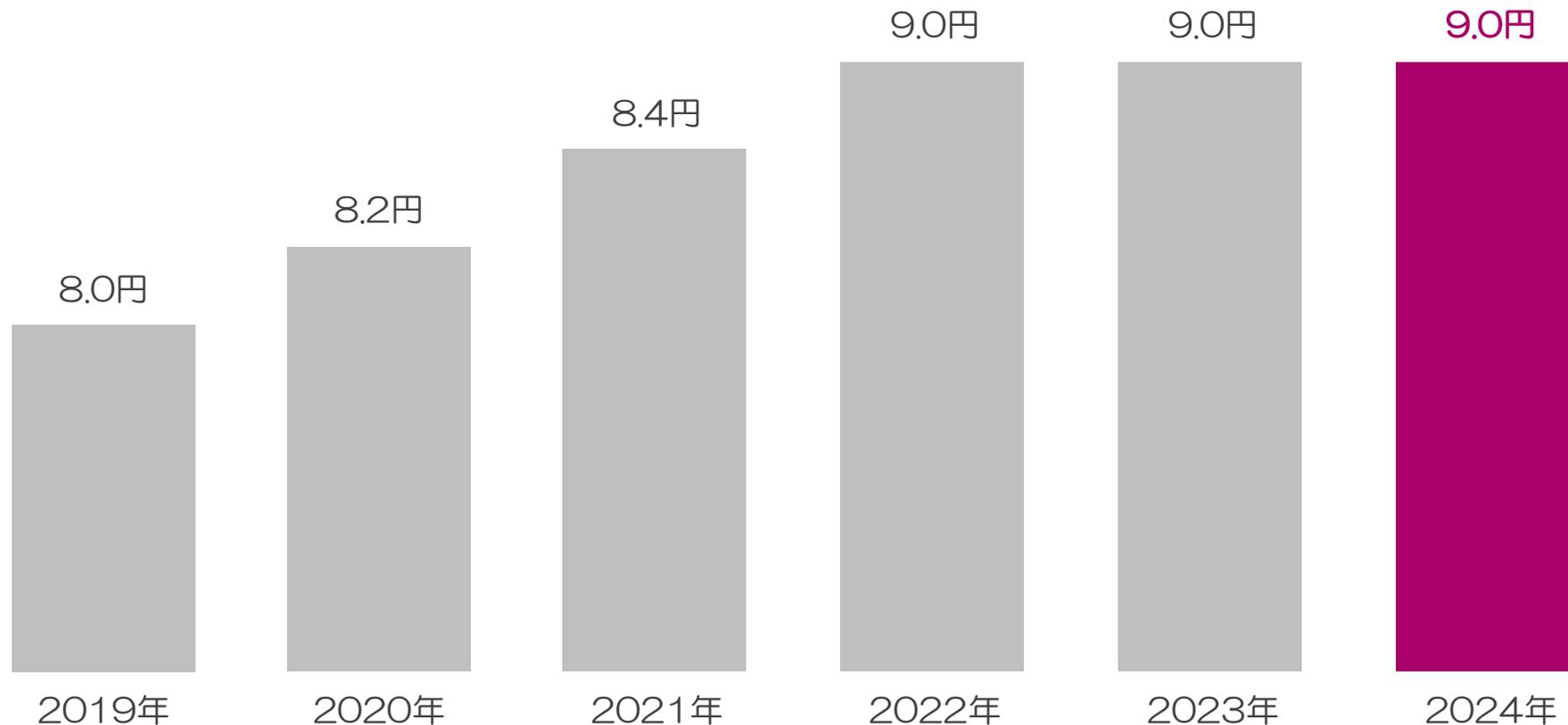
※親会社株主に帰属する当期純利益

## 利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業計画と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

## 2024年12月期の配当金について

2024年12月期の配当予想につきましては、1株当たり9.0円で実施予定。



# 施策（2024年12月期）

区分	事業別	内容	進捗状況及び結果
主力事業の強化	保育事業	<p>&lt;公的保育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の質の向上</li> <li>・ 保護者向けサービスの充実</li> </ul> <p>&lt;受託保育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規受託の営業活動 目標10施設</li> <li>・ 現場職員のエンゲージメント向上による人材定着率を向上</li> <li>・ 当社グループの採用サイトを立上げ、採用費の削減を目指す</li> </ul> <p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2024年4月にKid Duo International 福岡アイランドシティを開園、認知度を向上させ早期の充足を目指す</li> </ul>	<p>&lt;公的保育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各園で人気の取り組みをほっぺるランド全体で共有し横展開</li> <li>・ おむつのサブスクサービス、写真販売サービスを導入</li> </ul> <p>&lt;受託保育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月1日に8施設開設</li> <li>・ 本部と現場とのコミュニケーション機会を増加</li> <li>・ グループ採用サイト2024年6月リリース予定</li> </ul> <p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月1日にKDI福岡アイランドシティ開園：地元メディアへの掲載など認知度向上に向けた活動を実施</li> </ul>
注力事業	介護事業	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2024年以降に複数施設の新規開設を予定。</li> </ul> <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との連携による入居率増加（地域からの紹介数増加）</li> <li>・ 継続した顧客満足度の向上へ取り組み、口コミによる入居者獲得を目指す</li> </ul>	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規施設「ほっぺるの家」が8月開設予定</li> </ul> <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域からの紹介数増加、ケアマネとの接点増加</li> <li>・ 満足度調査を実施、満足度向上へ向けた活動を実施</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体向けに、スクール事業の「保育士試験取得支援プログラム」を提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政令都市と中核都市を中心に約50の自治体</li> </ul>
新規事業	生活関連支援事業	<p>【料理教室】 &amp; 【少額短期保険】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームメイドクッキング、セーフティージャパン・リスクマネジメントのグループシナジーの創出</li> </ul>	<p>【料理教室】 &amp; 【少額短期保険】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 料理教室の法人向けの販路拡大を実施</li> <li>・ 少額短期保険の新商品開発中</li> </ul>
	介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウィッシュ取得による事業領域の拡大、グループへの療育ノウハウの蓄積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2月にウィッシュを子会社化、PMI実施中</li> </ul>
新規事業開拓	M&A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業拡大へ向けた新たなM&amp;Aへの取り組み</li> </ul>	<p>【介護事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月にウェルファ株式会社の株式取得、5月に株式会社翠明の介護事業を譲受</li> </ul>
その他	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動の強化</li> <li>・ システム活用、業務改善による本部販管費の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種SNS（Instagram、X）で発信を強化</li> <li>・ BIツール導入準備</li> </ul>

(2024年4月1日)

## バイリンガル幼稚園 KDI福岡アイランドシティが開園



KDI説明会  
入園説明会  
受付中



2024年4月1日にKDI福岡アイランドシティを開園し入園式を実施しました。  
入園式では、100名超の園児をお迎えすることができました。

KDI (Kids Duo International) は英語・知育・運動を軸にした「生きた知識の習得」と社会性・コミュニケーション能力といった「ライフスキルの習得」により、将来を築く土台を育てるバイリンガル幼稚園です。国際化が進む福岡に住む子どもたちや、海外にルーツがある子どもたちが将来活躍できるように、質の高い教育を提供することで地域の力になりたいと考えております。地域の皆様の期待にお応えできるように努めてまいります。また、KDI福岡アイランドシティは報道機関から複数取材を受けるなど福岡の保育施設の中で注目を集めています。



(2024年2月1日)

## 株式会社ウィッシュの株式取得

(持株比率：100%)

**(目的)** 保育事業における療育機能を追加し、サービスラインアップの強化・拡充

株式会社ウィッシュ子会社化及びウィッシュの100%持株会社である、株式会社子育てサポートを孫会社化いたしました。

【事業内容】

ウィッシュ：児童発達支援、放課後等デイサービス等の事業所の運営

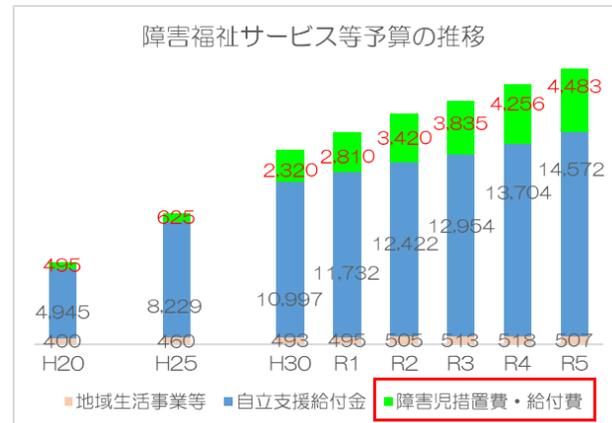
子育てサポート：児童発達支援、放課後等デイサービス等のフランチャイズ事業

- ・東海地方で6施設の事業所を運営
- ・フランチャイズ事業の加盟数は27社（42施設）

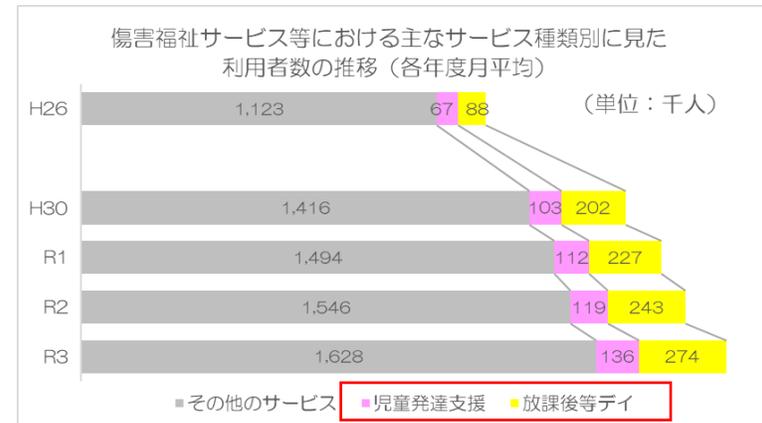


BOWブランドで展開

国の障害福祉サービスにおける障害児向けの予算はR5年まで増加基調



児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者はR3年度まで増加基調



※障害福祉サービス等報酬改定検討チーム第28回（R5.5.22）資料1（厚労省）を基に当社作成

(2024年4月11日)

## フォルテによるウェルファ株式会社の株式取得

(持株比率：100%)

### (目的) 介護事業の拡大

連結子会社であるフォルテがウェルファの株式を2024年4月11日付で取得し、子会社化（当社の孫会社化）いたしました。

【事業内容】 特定施設入居者生活介護老人ホーム「ふる郷」の運営

特定施設入居者生活介護老人ホームについて

介護保険法第8条第11項に基づき、特定施設に入居している要介護者を対象として行われる、日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話のことであり、介護保険の対象となる特定施設入居者生活介護を提供することができる老人ホームです。

# ふる郷



(2024年5月1日)

## フォルテによる株式会社翠明の介護事業の譲受

### (目的) 介護事業の拡大

連結子会社である株式会社フォルテが2024年5月1日付で株式会社翠明の介護事業を譲受いたしました。

【事業内容】サービス付き高齢者向け住宅「シニアレジデンス メゾン・ド・高松」の運営  
デイサービス「ユートリア」の運営

特徴：生活環境良好な立地、デイサービス併設、施設内厨房にて食事提供

特色：ペット可の部屋あり、敷地内での家庭菜園、家具家電付きの居室、看取り実績あり





(2024年2月8日・3月7日)

テノ。コーポレーションでは、働きがいのある園づくりを目指すチームエンゲージメントセンター（TEC）の活動と選ばれる園づくりを目指すCompassの活動を推進しております。

## TEC：大原こども専門学校での講演

■学校法人大原学園が運営する大原こども専門学校で、ほっぺるランドの園長が講師として講演を実施いたしました。

■実施日 2024年2月8日

■講演概要 大原こども専門学校の学生の方々と全国各地の学生がオンラインで視聴する中、ほっぺるランド志村坂上（東京都板橋区）の園長の中條健人が「保育園で働くこととは」をテーマに約1時間お話をさせていただきました。

※保育を担う会社としての社会的責任・社会貢献、またTECの活動、採用活動の一環として、本講演に参加させていただきました。）



## Compass：離乳食教室オンライン共有会の実施

■ほっぺるランド東品川で保護者向けに開催している離乳食教室を、他の保育園に拡大するために、ほっぺるランドで勤務するほ保育士向けにオンライン共有会を実施いたしました。

■実施日 2024年3月7日

■参加人数 40名以上

■離乳食教室について 新入園児の保護者の皆様に、園で提供する食事の詳細や、離乳食そのものについて、専門家の視点での説明を行い、栄養士手作りの「離乳食ハンドブック」をお渡しします。保護者の皆様に実際にお子様が食べる昼食の量も目で見ていただき、安心してお子様をほっぺるランドに通わせていただくためのプログラムです。



(2024年3月30日)

## 個人投資家向けセミナー「ブリッジサロン」への参加



動画アーカイブ

当社は、2024年3月30日開催の個人投資家向けセミナー「ブリッジサロン」に参加し、会社説明を行いました。東京にて行われた本セミナーには、会場参加とオンライン参加によるハイブリッドセミナーとなっており、会場では、78名の方にご参加いただきました。

今後も投資家向けの説明会をはじめとしたIR活動を積極的に行ってまいりたいと思います。

説明会の内容は、現在アーカイブ公開中です。

ご視聴は以下のリンクもしくは左に記載のURLよりご視聴ください。

[https://www.bridge-salon.jp/movie/7037\\_20240330\\_66151352387c0/](https://www.bridge-salon.jp/movie/7037_20240330_66151352387c0/)



# Section 4

## 中期経営計画と長期ビジョン

# わたし、選んで、生きていく。

多様性という言葉が注目を集め、  
女性やマイノリティの自由を尊重しようという空気が  
いま世の中を包んでいるように思います。

それでも、それでも。

働きながら子育てをするときに。

働きながら介護をするときに。

その選択肢は、自由と言えるほどには、多くはない。  
大切な人の存在が働くことの壁になるのは、かなしい。

働きながら、幸せに生きていく、

そのためにこれからの時代に必要なことは、

たくさんの選択肢があることだと思う。

たとえば、職場に保育園があれば、

時短勤務とは、ちがう働き方ができるかもしれない。

教育やしつけにまで関わる海外のナニーのようなサービスが増えれば、  
仕事に早く復帰したい女性を助けることができるかもしれない。

ライフステージの中で起こりうるさまざまな出来事に対して、  
たくさんの解決の選択肢が当たり前にあること。

そうってはじめて働く女性に本当の自由が訪れる。

誰もが自分らしい働き方や生き方を選択できるようになっていく。

前を向く人の背中を押す。折れそうな心を支える。

さまざまな境遇の人に手を差し伸べること。

それがこれからのテノ。ホールディングスが提供するぬくもりです。

人は、やさしくされたときの手のぬくもりを、  
一生おぼえていると思う。

誰もがあたたかい気持ちで生きていける世の中へ。

それがテノ。の願いです。

**teno.**  
HOLDINGS



# Purpose

存在意義

(キーメッセージ)

わたし、選んで、生きていく。

「手の」ぬくもりで、安心できる社会を創造する。

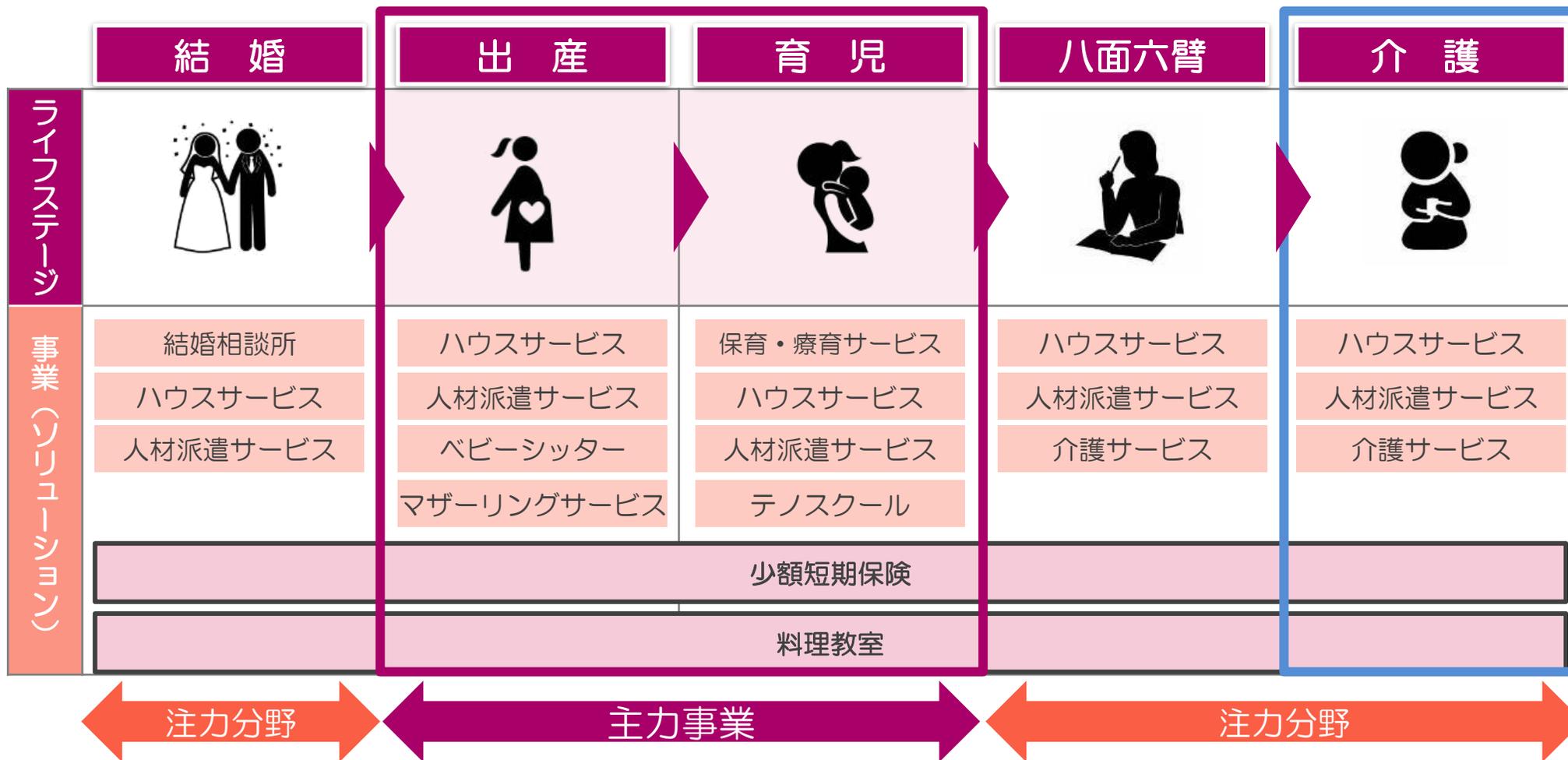
私たちは、女性のライフステージを応援します。  
私たちは、相手の立場に立って考えます。  
私たちは、コンプライアンスを推進します。  
私たちは、事業を通して社会貢献致します。

時代に求められるサービスを提供する  
プロフェッショナル集団となり、  
働き手にとって最も自己実現が可能な  
家庭総合サービスグループを目指す。



女性が活躍する事業展開とは  
 育児・家事・介護をしても働き続けられる事業

強化



## 中期経営計画の基本方針

1. 保育事業（公的保育・受託保育）における事業拡大  
（M&Aによる事業拡大も含む）
2. 「サービス品質」を追求し、選ばれる施設づくりを行う
3. 人事制度と人材育成制度の一体改革に着手する
4. 新規事業（保育以外の主力事業へ）を立ち上げる  
（将来への投資として、多くの種まきを行う）
5. 介護事業における事業拡大に注力し、保育事業に続く柱の事業へ  
成長させる

# 「 teno VISION 2030 」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、

働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

## 働き手視点

- >適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- >グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- >客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- >人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- >グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの  
実現により、  
選ばれる  
企業集団へ

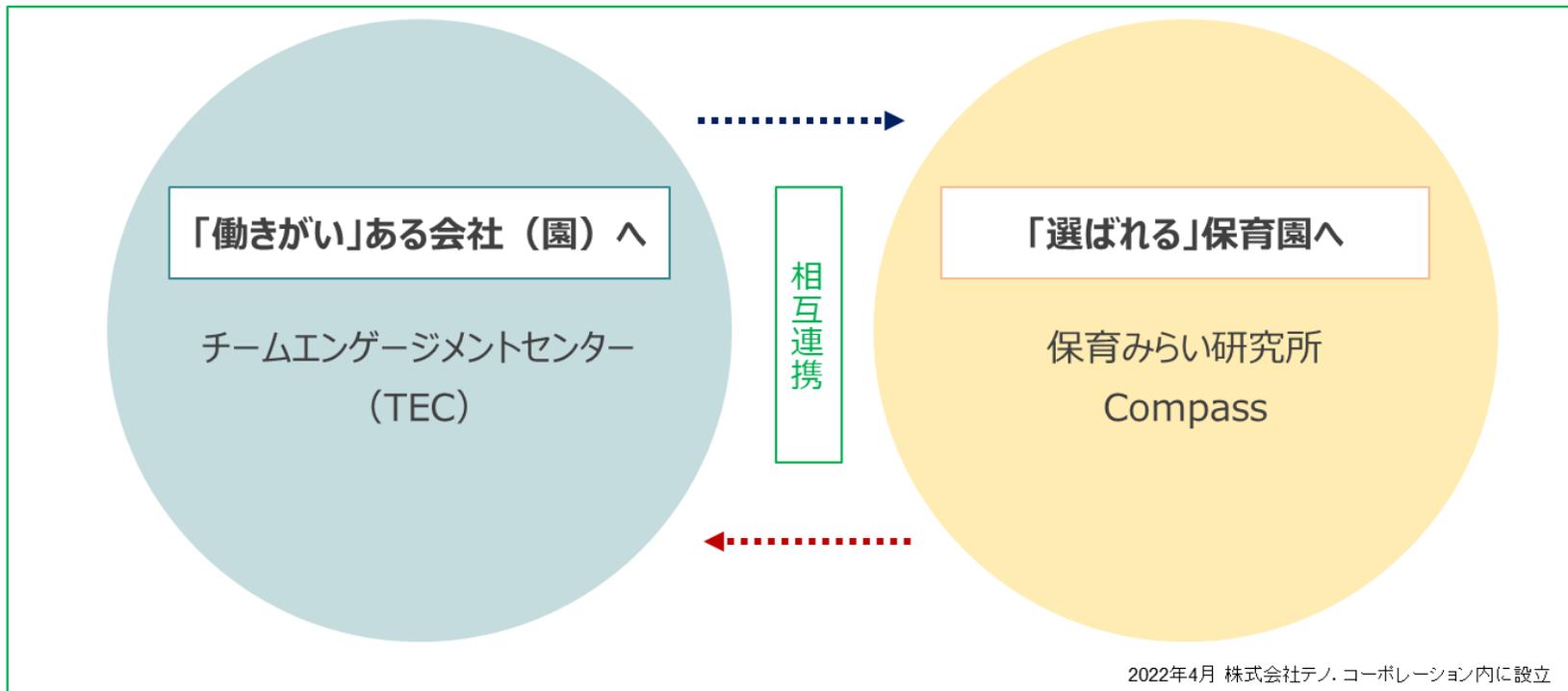
## 顧客・クライアント視点

- >便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- >時代のニーズに合った付加価値の提供
- >テノ、グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- >極めて透明な情報開示と財務の健全性
- >対価に対するサービスレベルが適切である
- >個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

# 「teno VISION 2030」を実現するための取り組み

チームエンゲージメントセンター

保育みらい研究所 Compass



**2つの取組みがバラバラに展開するのではなく、相互に連携しながらよりよい園（会社）づくりを推進していきます。**

※1：TECとは、職員一人ひとりにとって「いきいき働ける会社」「働き続けたい会社」であるために、「働きがい」に着目し本部・保育園が一体となって企画・推進するプロジェクト組織です。

※2：「保育みらい研究所 Compass」とは、「保育園での豊かな実践の共有と学び合い」、「保育・教育・子ども子育ての専門家との共創」のためのプラットフォームです。

## 社会課題への取り組み

4 質の高い教育を  
みんなに



### 質の高い教育をみんなに

技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



### ジェンダー平等を実現しよう

公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

8 働きがいも  
経済成長も



### 働きがいも経済成長も

若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

男女平等を実現し、  
すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

(経営理念)

私たちは、女性のライフステージを応援します。

私たちは、相手の立場に立って考えます。

私たちは、コンプライアンスを推進します。

私たちは、事業を通して社会貢献致します。

(ビジョン) 女性が活躍する社会の創造

(戦略) 女性が活躍する事業展開

## テノ、グループSDGs行動計画

当社グループはSDGsの課題解決を重要な経営課題と捉え、ジェンダーに関係なく、個人のライフステージに合わせて働き続けられる社会の実現を目指し、国際社会が追求する社会課題の解決に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組みます。



## テノ、グループは、「ジェンダー平等」にコミットします ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」のうち

5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯  
・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

テノ、グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
・従業員の男女隔てなく世帯・家族内における責任を担える環境を作ること で、家事労働を支援します。	・男女別育児休暇取得率	2023年 男性50.0% 女性98.3%	2025年 男性60.0% 女性 100.0%

5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

テノ、グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
・女性のリーダーシップの発揮の機会が担保され、女性目線でのサービス創出が強みになる社風を確立します。	・管理職に占める女性の割合 ※ ( ) 内は現場含む数値	2023年 38.7% (84.9%)	2030年 50.0% (87.5%)

## 長期ビジョン「teno VISION 2030」による事業拡大イメージ

### -事業拡大戦略-

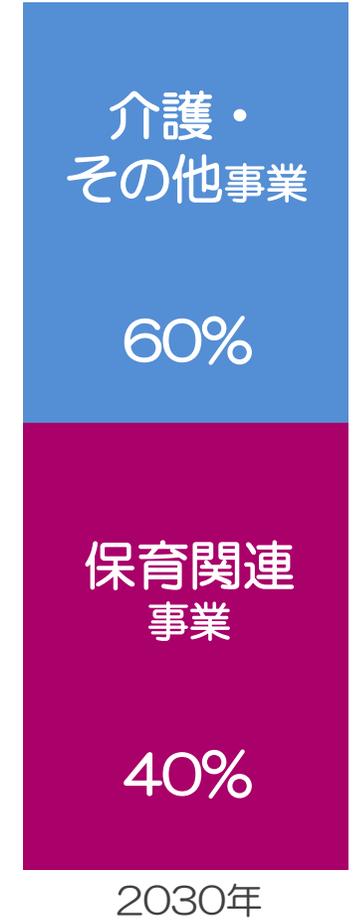
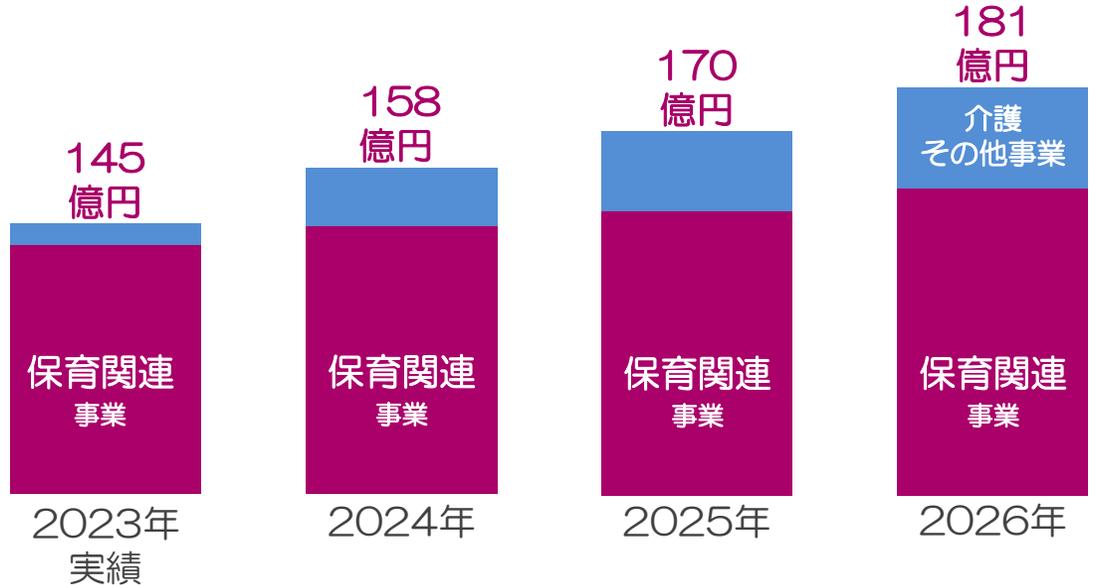
- 戦略1：保育関連事業の拡大
- 戦略2：新規事業の創出
- 戦略3：M&Aによる事業拡大

売上高

500  
億円

介護・その他事業  
売上高  
約6割に拡大

CAGR※  
2桁成長



※CAGR: Compound Annual Growth Rate 年平均成長率

# Section 5

## Appendix

(2024年4月1日開園)



バイリンガル幼稚園  
**Kids Duo**  
International

新規オープン

KDI福岡アイランドシティ



入園説明会  
受付中

■ 基本情報

名称：Kids Duo International福岡アイランドシティ

所在地：福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目 7-32

定員数：342名（年少々 72名、年少・年中・年長 各90名）

特徴：「自分力」を育てるを教育理念に、英語教育だけではなく、知育、運動、そしてライフスキルを取得します。また、その知識を活用することで、将来を築く土台の習得を目指します。

バイリンガル幼稚園

英語

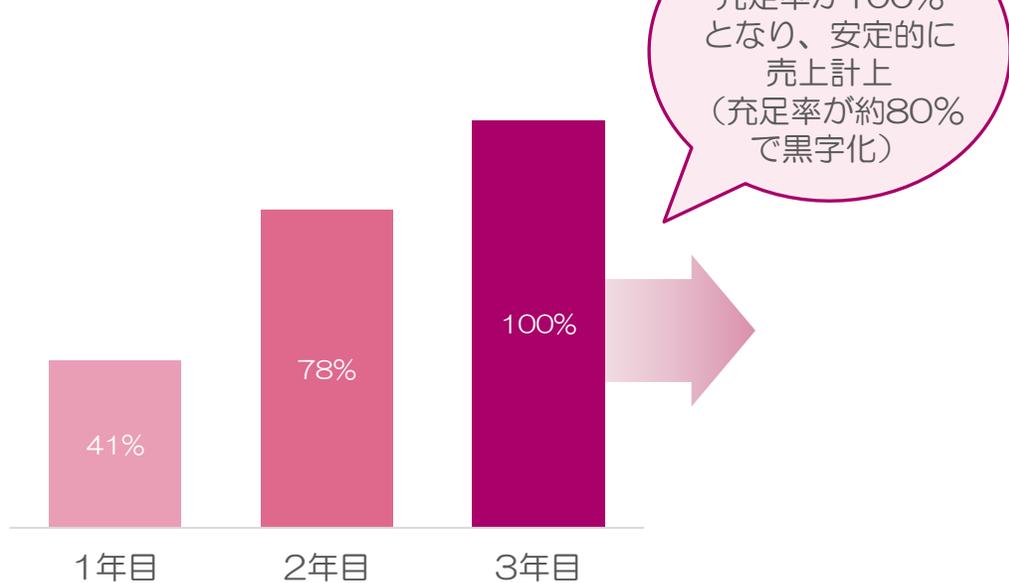
日本語

Kids Duo International  
略して“ **KDI** ”と呼んでいます

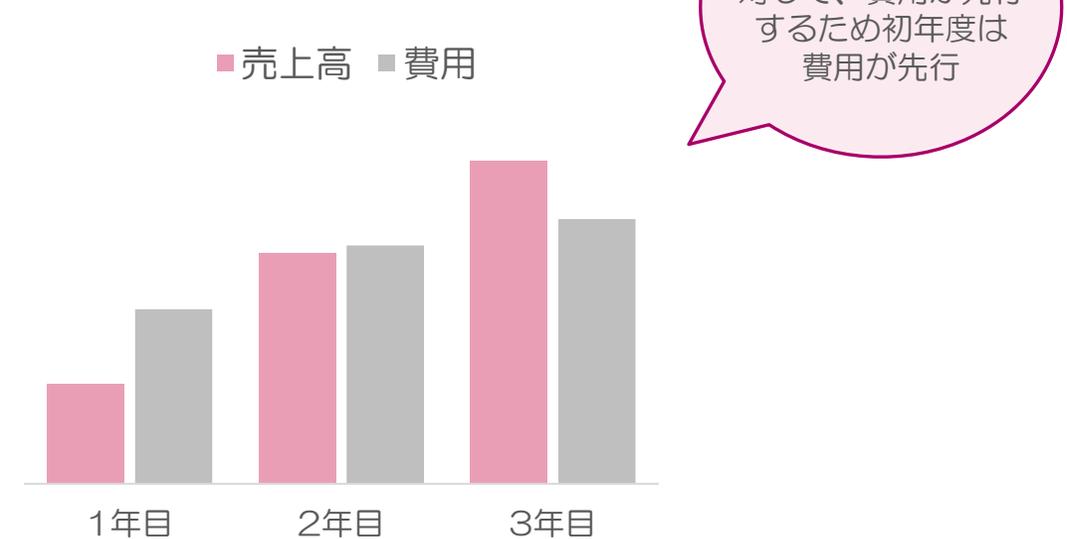
保育機能と教育機能の兼備

定員	342名 12クラス（2歳児：72名、3～5歳児：各90名）
保育所運営スタッフ （定員100%入園時）	園長1名、保育士/バイリンガル 22名、ネイティブ 13名、運動 3名、 ラーニング・音楽・受験 各1名、保育補助2名、事務3名
設 備 投 資	土地・建物（賃貸借契約）、内装費用、FC契約関連費用、システム関連 投資費用
初 期 費 用	採用関連費用、従業員の研修費用（旅費交通費含む）、備品・消耗品等

園児数充足率（計画）  
売上は園児の充足率に比例



売上・費用計画  
園児が充足する3年目より売上高が  
費用を上回り黒字化



2024年8月 住宅型有料老人ホーム「ほっぺるの家」さいたま見沼 新規オープン

住宅型有料老人ホーム

ほっぺるの家  
さいたま見沼

運営主体

株式会社フォルテ

住所

埼玉県さいたま市  
見沼区堀崎町

施設規模

居室数 54室

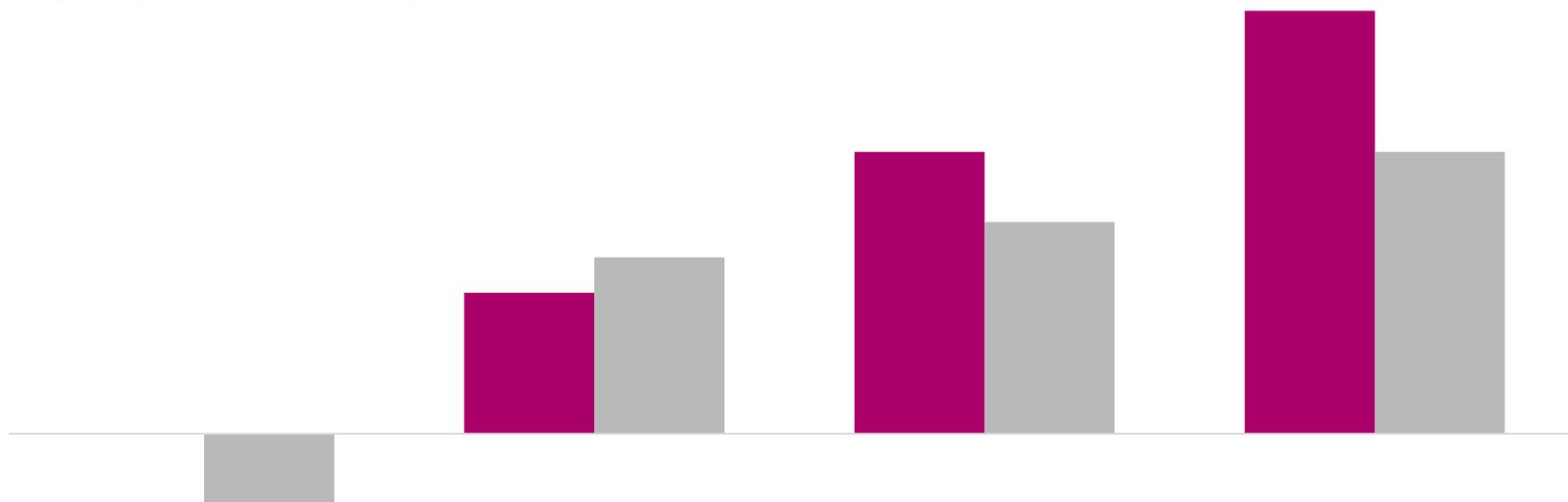


※施設の外観は、イメージ図

# 新設ホームの収益化推移（年度イメージ図）

開設2年目に黒字化、3年目はほぼ満室稼働になり収益が安定（期待粗利率は20%以上）

【■売上高 ■費用】



開設前

開設1年目

開設2年目

開設3年目

新規開設にかかる費用（50百万円程度）が先行して支出される

充足率が損益分岐点（70%程度）に達するまでは単月赤字が続く

充足率が損益分岐点を超え通期にわたって黒字化ができる水準へ近づく

居室数に対して、ほぼ満室稼働を続き、収益が安定

職員採用費、広告宣伝費、施設什器備品等

入居促進活動における費用

入居促進活動における費用

## 株式会社ウィッシュの株式取得

(2024年2月1日子会社化完了)

(持株比率：100%)

(目的) 保育事業における療育機能を追加し、サービスラインナップの強化・拡充



株式会社ウィッシュ子会社化及びウィッシュの100%持株会社である、株式会社子育てサポートを孫会社化したしました。

### 【事業内容】

ウィッシュ：児童発達支援、放課後等デイサービス等の事業所の運営

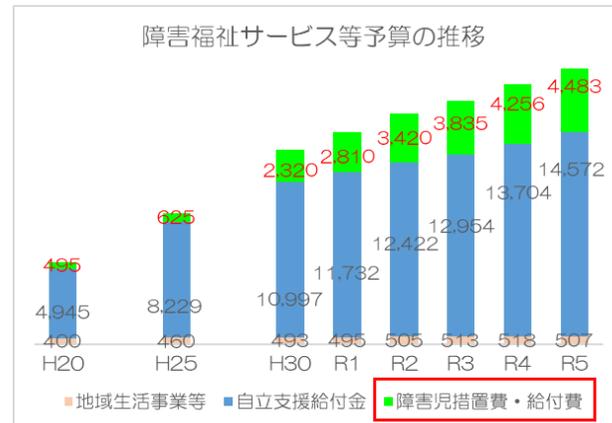
子育てサポート：児童発達支援、放課後等デイサービス等のフランチャイズ事業

- ・東海地方で6施設の事業所を運営
- ・フランチャイズ事業の加盟数は27社（42施設）

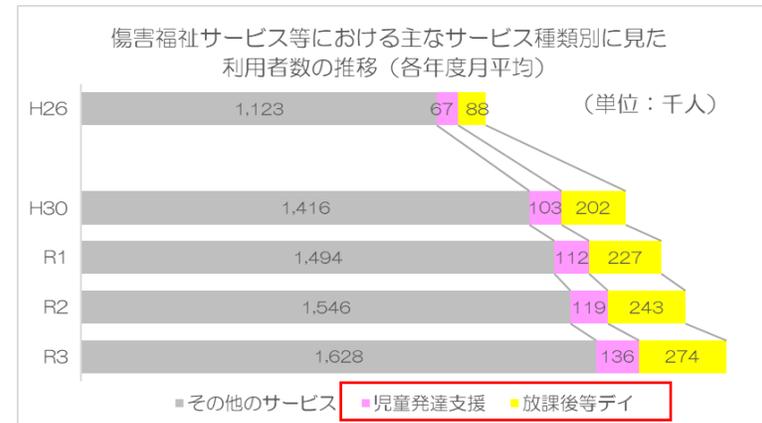


BOWブランドで展開

国の障害福祉サービスにおける障害児向けの予算はR5年まで増加基調



児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者はR3年度まで増加基調



※障害福祉サービス等報酬改定検討チーム第28回 (R5.5.22) 資料1 (厚労省) を基に当社作成

## 児童発達支援・放課後等デイサービスの概要

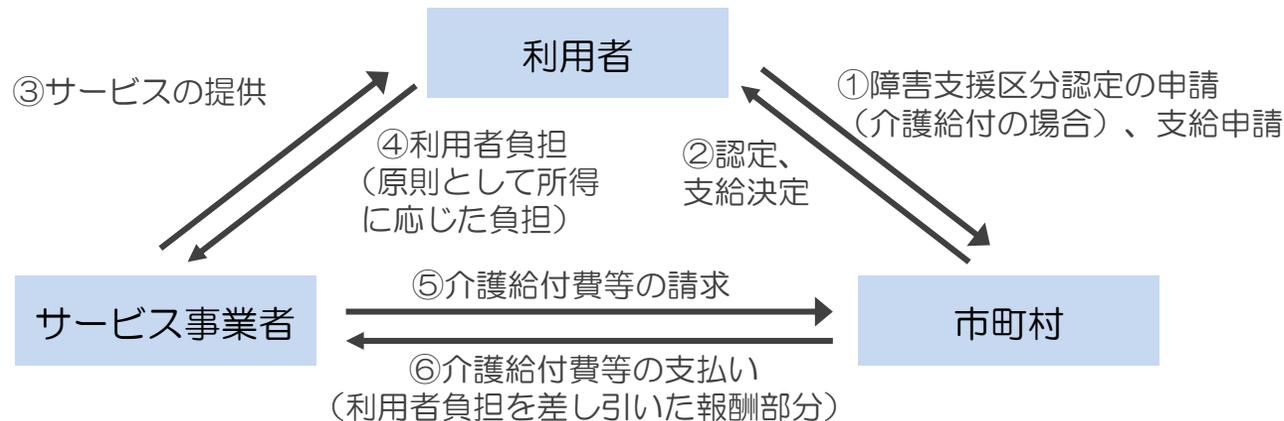
### 児童発達支援

児童発達支援とは、障害のある子どもに対し、身体的・精神的機能の適正な発達を促し、日常生活及び社会生活を円滑に営めるようにするために行う。

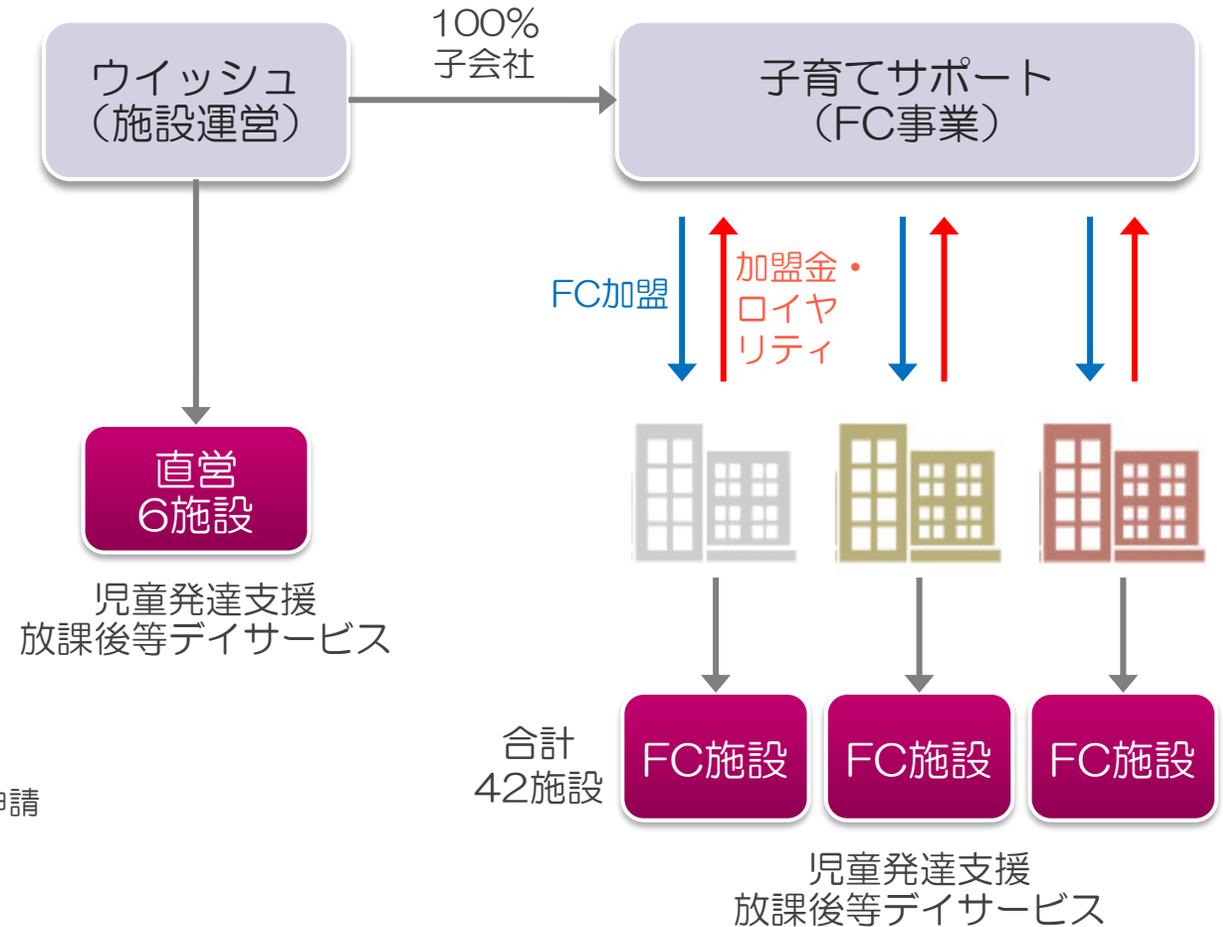
### 放課後等デイサービス

放課後等デイサービスとは、学校に就学している障害児に、授業の終了後又は休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することとされている。

## 障害福祉サービス等報酬支払の流れ（概要）

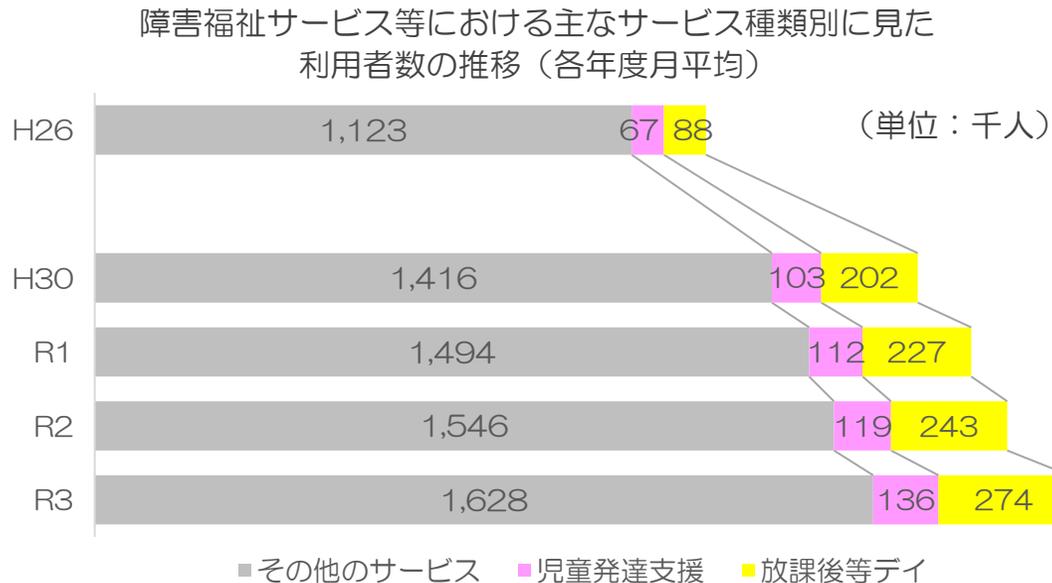


## ウィッシュの事業モデル

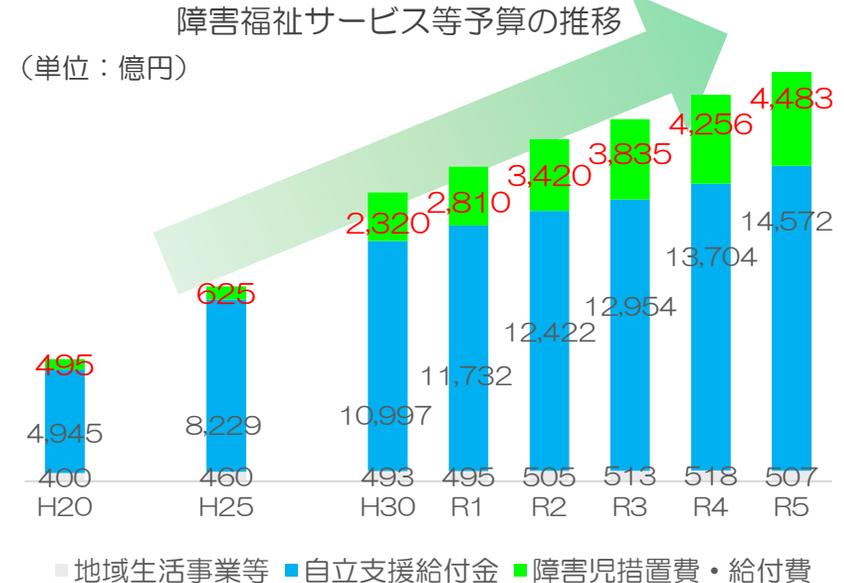


障がい児向けサービスは近年まで利用者数と予算はともに増加が続いている

児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者数は、R3年度まで増加基調



国の障害福祉サービスにおける障がい児向けの予算は、R5年まで増加基調



令和6年度障がい福祉サービス等報酬改定に向けて  
 ・児童発達支援・放課後等デイサービス事業の2類型化  
 厚生労働省第6回障がい児通所支援に関する検討会において児童発達支援・放課後等デイサービス事業を2類型に分類する方向が示唆された。

## 総合支援型

運営指針にある4つの活動を全て行う（①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供）  
 運営指針にある5領域をカバー（5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会」）全体をカバーした上で特に重点を置くべき内容を決める）

## 特定プログラム特化型

理学療法、作業療法、言語療法による専門性の高い有効な発達支援

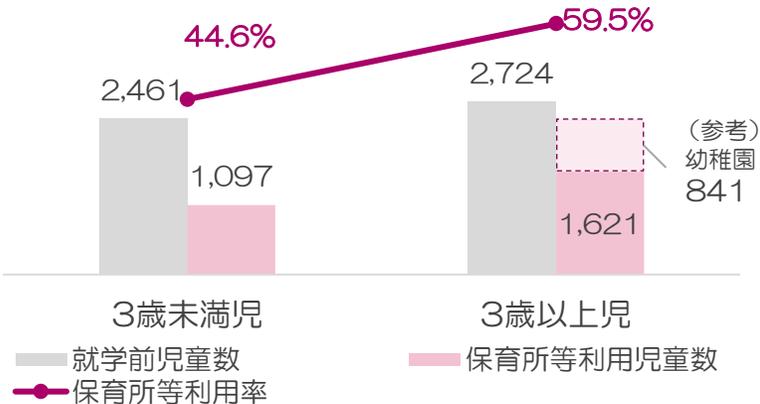
# セグメントの市場動向と今後の取り組み【保育事業】

## 保育事業

### （保育所）

少子化が進む中で、就学前児童数に占める保育所等の利用率は60%未満。一方で、政府は「こども誰でも通園制度」により、保育所を利用できる家庭を拡大させる見通し。

就学前児童数（千人）に占める保育所等利用児童数の割合（2023年）



※保育所等関連状況取りまとめ（厚労省）、令和5年度学校基本統計結果の概要（厚労省）をもとに当社が作成

- ・利用者拡大の受け皿としての保育士確保が必要。人材確保のための採用強化と離職防止対策に取り組む。

### （学童保育）

2023年度の状況は、登録児童数は過去最高1,457千人（前年比65千人増）となり、放課後児童クラブは37,034支援の単位（過去最高値を更新）となった。待機児童数も前年比16,276人となり前年比1,096人増となった。国は2023年12月に「放課後児童対策パッケージ」を発表。

令和5年（2023年）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（こども家庭庁）より

2023年12月発表の、「放課後児童パッケージ」の具体的な対策  
放課後児童クラブの受け皿整備等の推進

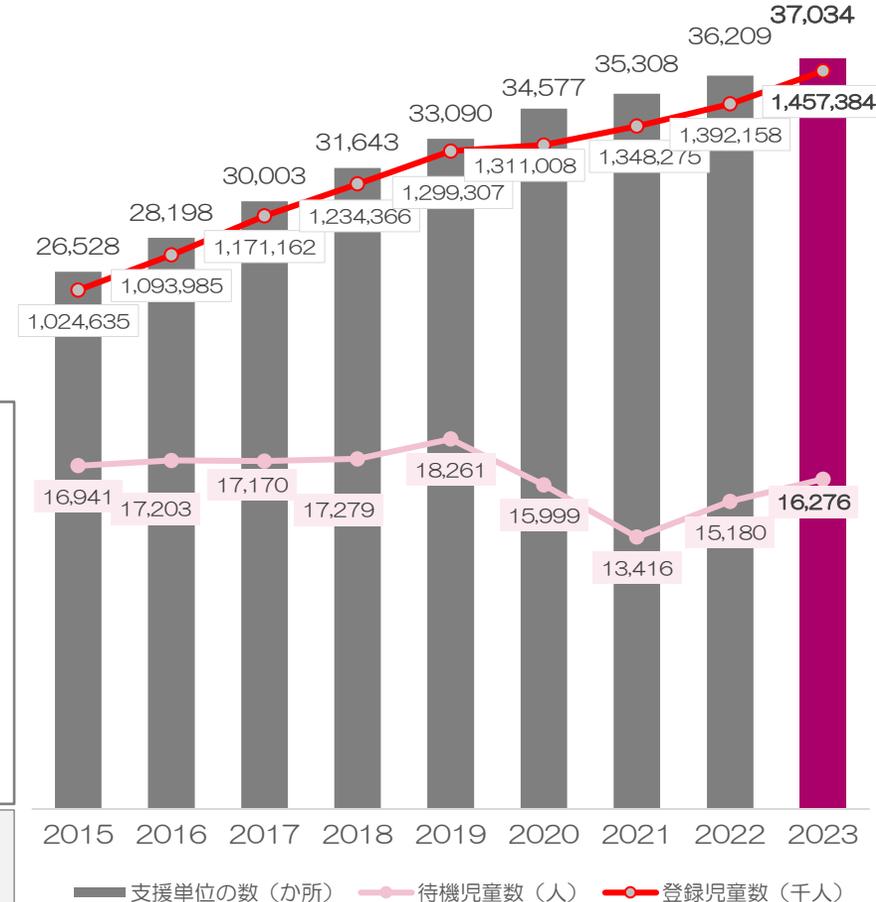
- ・放課後児童クラブを開設する場の確保
- ・放課後児童クラブを運営する人材の確保
- ・適切な利用調整（マッチング）

他

放課後児童対策パッケージ（こども家庭庁）より

- ・学童利用者も拡大すると見込み、首都圏を中心に営業活動を強化。
- ・人材確保のための採用拡大と離職防止の対策に取り組む。

学童の支援単位数、登録児童数、待機児童数



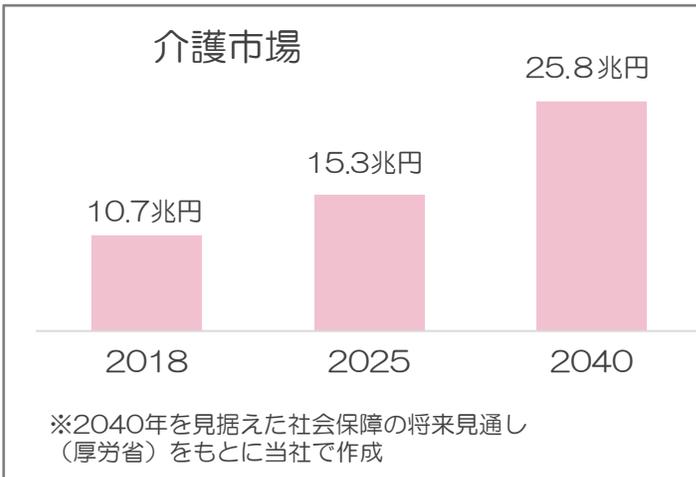
令和5年（2023年）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（こども家庭庁）より

# セグメントの市場動向と今後の取り組み【介護事業】

## 介護事業

### (高齢者介護)

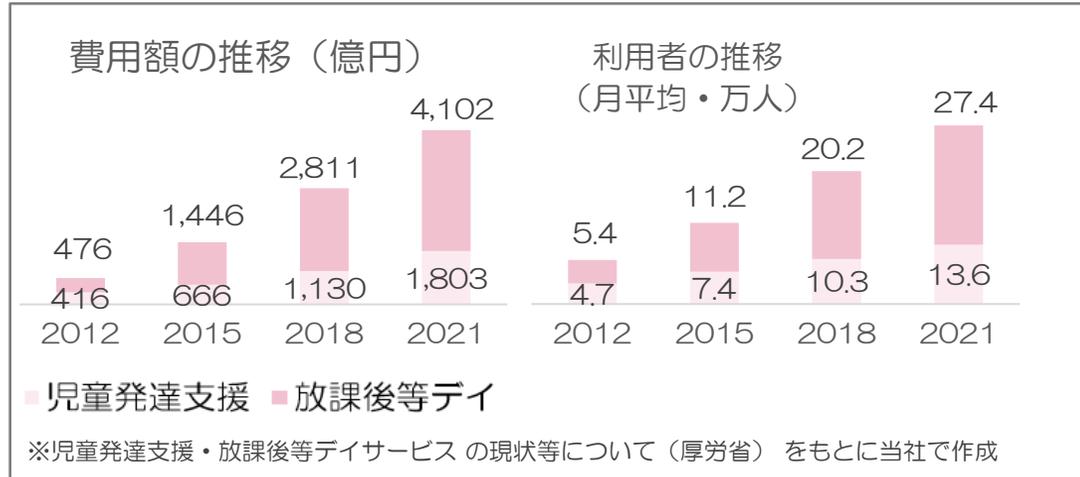
日本では高齢化が進む中、介護市場は成長するとみられており、2040年は2018年の約2.5倍となる見通し。



- 介護は成長市場のため、ニーズのある地域に施設を開設。
- 各施設での訪問介護サービスの導入を検討する。

### (障がい福祉)

障がい福祉分野は、児童発達支援、放課後等デイサービスは総費用額、利用児童数は増加傾向が続いている。今後は、総合支援型、特定プログラム特化型の2類型への移行が求められる。



※「こども誰でも通園制度」についての議論の中でも、傷害のあることも含めた議論が実施されており、児童発達支援事業所でも一時的な利用者が増加する可能性がある。

- 2類型への移行を想定したプログラムづくりを進める。
- 当社グループの保育事業とのシナジーを活かしながら施設数及びFC加盟数の拡大を図る。

## 生活関連支援事業

- 政府は少子化対策として、出産、子育てを支援。働きながら子育てをする女性が増加し、家庭への負担が増加する。
- 介護が必要な高齢者が増え、家庭への負担が増加する。

共働きをしながら、保育や介護を担うために、家庭生活の支援の重要性、必要性が高まることが想定される。また、2023年12月に政府は「こども未来戦略」を発表し、少子化対策が一層強化され、生活を支援するサービスが拡大する可能性がある。

保育事業や介護事業の拡大とあわせて、生活を支援できるサービスを拡充、拡大させる。



### 【お問合せ先】

株式会社テノ・ホールディングス

取締役管理本部長 岡田 基司

福岡県福岡市博多区上呉服町10-10呉服町ビジネスセンター5F

TEL : 092-263-3550 FAX : 092-263-3557

- 本資料に掲載する情報は、弊社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。
- 本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。これらは、現在入手可能な情報に基づき、弊社の仮定及び判断に基づくものであり、今後の経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定が将来実現しない可能性があります。
- 本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 今後の新しい情報や将来の事業などの発生が生じたとしても、本資料に含まれる見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き必ずしも修正するとは限りません。